
春の陽だまりの中で

ズラえもん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春の陽だまりの中で

【Nコード】

N4425E

【作者名】

ズラえもん

【あらすじ】

ある春の日、毎日通りかかる女性を心待ちにする主人公・・・でも、声をかける勇氣も無くただ見つめているだけ。でもそんな彼に思いもよらぬチャンスが！彼女が自ら彼のほうに近づいてきた・・・そして胸を高鳴らせながら初めて彼女に声をかけた主人公！果たして彼女の反応は・・・

ここはとある湖畔のバス停前……

僕は10日ほど前から毎日ここに立って彼女が来るのを待っている。

彼女はいつも決った時間にバスから降りて来る、同じ制服を着た数名の友人達と一緒に……楽しそうに雑談をする彼女の顔を見ると、僕の胸は激しくときめき始める。

“声をかけようか!!”

そう何度も思ったが、やはり僕には無理だ……僕にはそんな度胸もなければ、洒落た台詞さえ持ち合わせてはいない!!

だけど、僕にだって神様がチャンスを与えてくれるかも知れない……いつか彼女のほうから僕に話しかけてくれるかも知れない……そう思いながら毎日楽しみにして
るんだ。

でも僕が彼女の顔を見られるのは、ほんの数分間だけ!

なぜって? それは、彼女の乗ったバスが着く前に決まってやって来る女性がいるからさ……どうやらその女性と彼女はこの場所を待ち合わせに使ってるようだ!

2人はそこで落ち合うと、わき目も振らず、さっさと何処かへ行ってしまう。

だから僕はいつもその短いチャンスに賭けてるんだ!!

ほら・・・そうこうしてるうちに、やはりその女性はやって来た。

それを待ち構えていたかのように彼女の乗ったバスが着き、開かれたドアから彼女が降りて来る・・・!!

おや! あっ・・・あれ・あれ!! どうしたんだ?

いつもならすぐに歩き出すのに今日は僕の方を見ながら何やら2人で話してるようだ・・・

” あっ!! ” 彼女が僕の方に近づいて来る・・・連れの女性もその後からゆっくりとやって来た!

” ああっ・・・どうしよう ” 待っていたチャンスとはいえ、あまりの突然に僕は戸惑いを隠せなかった。

彼女のさらさらの髪の毛が風に揺れ、細い指先が僕に向かって伸びてくる・・・

僕は叫びだしそうになるのを必死に堪えながら、初めて憧れの彼女

に話しかけた!!

「いらっしゃいませ! ありがとうございます!! おつりをお取りください!!」

彼女は僕の声が聞こえるとうれしそうにニッコリ笑い、連れの女性を振り返りながら言った!!

「ママァ!・・・この自動販売機おしゃべりするよ・・・!!」

「ほんとう? じゃあ販売機さんも今から真由のお友達だね・・・
帰ったらパパにも教えてあげなきゃね!!」

「うん!!」

彼女は大きくうなずくとママに手を引かれ帰って行った。

そして僕はというと・・・

彼女が楽しそうに幼稚園に通う姿を今日もこうして見守っている・・・!!

おわり☆

（後書き）

通勤途中の販売機の前で目撃した、心が洗われるような光景をそのまま擬人法で表現して見ました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4425e/>

春の陽だまりの中で

2010年12月4日04時31分発行